

芦屋ユネスコ協会
事務局 〒659-8501 芦屋市精道町 7-6
芦屋市教育委員会 社会教育部
生涯学習課内

TEL 0797-38-2091
FAX 0797-38-2089



芦屋ユネスコ協会

AU 通信

ホームページ

<http://www.unesco.or.jp/ashiya/>

Eメール

ashiya@unesco.or.jp

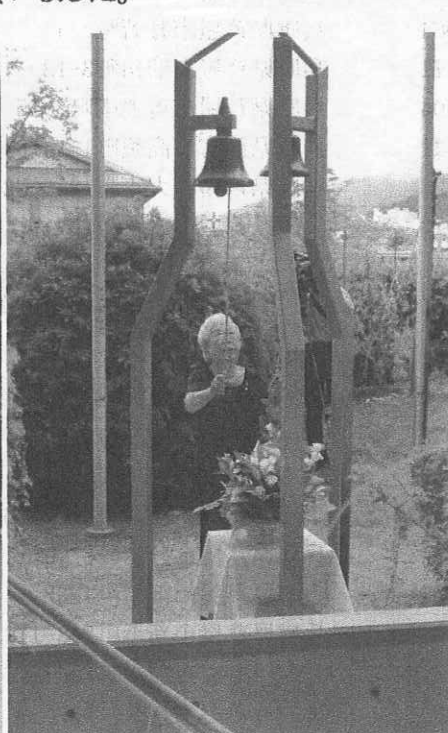
発行：芦屋ユネスコ協会
会長 広瀬忠子

「戦争は心の中で生まれるものだから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」

8月15日「平和の鐘を鳴らそう」行事实施

67回目の終戦記念日に当たる8月15日、本年は芦屋市、芦屋市教育委員会の「平和と人権事業」と共催して盛大に実施されました。市民センター正面玄関横の「優愛の鐘」広場に山中市長、始め、会員及びその家族を中心に市民やお盆で帰郷のお孫さんも含め120名強の皆さんが集い、～平和の祈りと願い～を込めた行事を実施しました。廣瀬会長、山中市長の挨拶の後、ユネスコの平和宣言を一同高らかに唱和し、正午のサイレンとともに黙祷のあと、一人づつそれぞれの思いを込めて「優愛の鐘」を高らかに鳴らし、平和の誓いを新たにしました。

この後、場所を市民センター401号室に場所を移し、懇親懇談会を実施しました。早速、会員有志に用意して頂いた戦時食の「ふかし芋やおにぎり」そして「すいとん」を食し当時を偲びました。冒頭、芦屋ユネスコ協会・山田事務局長から「ユネスコ活動とは・・・」と題して国連、日本ユネスコ協会連盟、そして我々芦屋ユネスコ協会の活動について配布した資料によって説明し同時にビデオ放映があり、今後のユネスコ活動と市民の皆さんの理解と支援協力の要請がありました。次いで、廣瀬 忠子 芦屋ユネスコ協会会長の戦中戦後のお話と、会長の司会で参加された数人の方々から当時の体験談を語って頂き戦争の悲惨さと、平和がどれだけ大切かを切々とかたって頂き参加者全員が感銘を受けました。最後は本行事の記念イベントとして声楽家・加藤純子さんによる「平和の歌を唄いましょう！」の披露と歌唱指導があり、「さとうきび畑」「千の風になって」をピアノ(金沢佳代子さん)と手話のボランティアの方のご協力を頂きながら全員で唄い、大いにこの集いを盛り上げて貰いました。



ユネスコは「平和の志」を掲げ、二度と戦争を起こしてはならない！世界の平和と人類の福祉に貢献することが活動の原点です。この心をつなげて行くためにも、芦屋ユネスコ協会の「平和の鐘を鳴らそう」行事は11年間途切れることなく継続実施されてきており市民の皆さんに定着されてきておりますとともに、マスコミにもこの芦屋の行事は毎年注目されております。本年も、当日の夕刻には NHKで行事内容が放映され、翌日の新聞(毎日、朝日、読売、産経、神戸各紙)にも大きく報道されました。尚本年は、芦屋市並びに芦屋市教育委員会との共催で実施され意義あるものになりました。今年も参加された皆さまと、お手伝いに汗を流して頂いた会員の方々とそして全面的にサポートして頂いた教育委員会の皆様に感謝し、厚くお礼を申し上げる次第です。



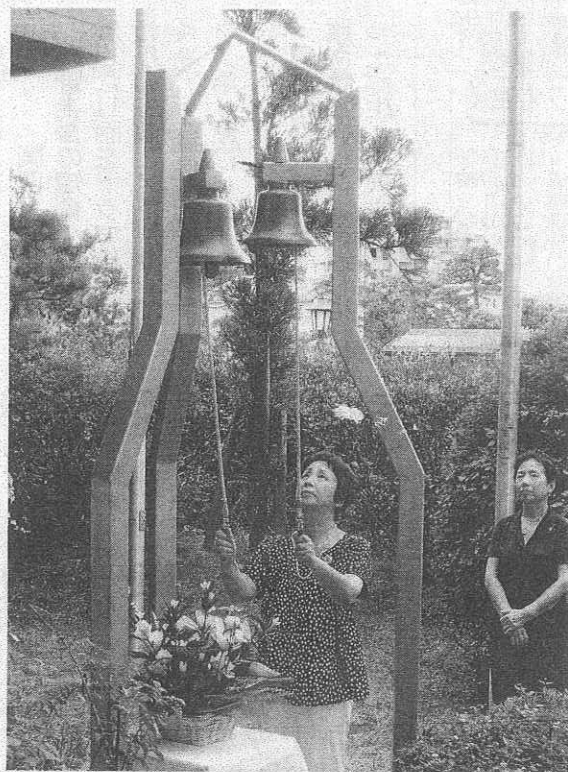
戦争当時の体験談を
当時の食事を食べながら……
主催 芦屋市 芦屋ユネスコ協会



鐘鳴らし平和を誓う

「終戦の日」県内各地で追悼行事

67回目の「終戦の日」を迎えた15日、県内各地で戦争の犠牲となった人たちの冥福を祈る追悼行事が行われた。東京・日本武道館で開かれた全国戦没者追悼式にも県から103人が参列。県庁をはじめ、県内市町の庁舎などでは戦没者を悼み半旗が掲げられ、職員らが正午に1分間の黙禱(もくとう)をささげた。



平和を祈り「優愛の鐘」を鳴らす参列者＝芦屋市民センター

芦屋市民センター(業平町)では、鐘を鳴らして平和を祈る催しが行われ、市民ら約120人が平和への誓いを新たにしました。芦屋市と芦屋ユネスコ協会が企画。参列者は阪神大震災の犠牲者の鎮魂のためにセンターに設けられた「優愛の鐘」を1人ずつ鳴らし、そっと手を合わせた。

会場では、同協会の広瀬忠子会長(85)らが当時の体験を語った。広瀬会長は、終戦前日の昭和20年8月14日の大阪の空襲を「大阪砲兵工廠が燃えていた。そこに大阪城が浮かび上がり、

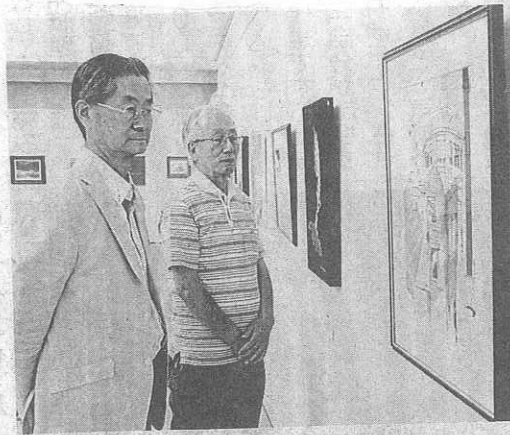
映画のようだった。遺体も転がっていた」と振り返り、「戦争がどんなにむごたしかったか、語り継ぎたい」と強調した。母親の実家に帰省中で、両親と参列した東京都品川区の区立立会小学校4年生、池田佳奈実さん(10)は「昔の人はいつ死ぬか分からず、怖かったと思う。戦争をしてはいけないと思う」と話していた。

同神社の神職、西浦正樹さん(32)は「年々、遺族の方も高齢化している。これから祀(まつ)っていくために、広く次世代に、英霊に対する感謝の念を伝えていく取り組みが求められている」と語った。

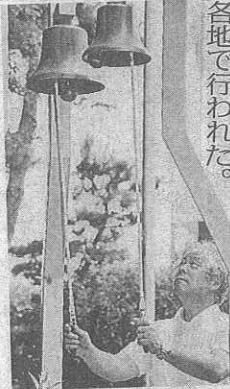
平和への願い祈る

終戦から67年 伊丹や芦屋で催し

平和をテーマにさまざまな作品が展示されている



終戦から67年を迎えた15日、伊丹市で「伊丹・平和の美術展」が始まり、芦屋市で戦争体験者が「優愛の鐘」を鳴らすなど、平和を願うさまざまな催しが各地で行われた。



鐘を鳴らし犠牲者を追悼する男性
—芦屋市の市民センターで

優愛の鐘で誓い

芦屋市業平町の市民センター前にある「優愛の鐘」では、戦争体験を持つ市民ら約70人が、鐘を鳴らして平和を誓った。

鐘は、阪神大震災翌年の96年に芦屋市婦人会が犠牲者の鎮魂のために作り、市に寄贈した。震災があった1月17日と終戦記念日に鳴

らしている。参加者らは正午、サイレンの音に合わせて黙とう。1人ずつ台座に進み、鐘を鳴らして手を合わせた。

芦屋市の広瀬忠子さん(85)は終戦前日の大空襲で大阪市の自宅が全焼した。焼夷弾が落とされ、街が焼け野原になっていく様子が今でも忘れられないという。「戦争を知っている世代が少なくなってきたが、これからも伝え続けていきたい」と話した。【米山淳】

不戦の誓い 鐘に込め 終戦67年

67回目の終戦の日を迎えた15日、芦屋市業平町の市民センターでは平和を願う集いが開かれた。市民ら約120人が集まり、敷地内の「優愛の鐘」を鳴らした。

戦争の記憶を語り継ぐと、芦屋ユネスコ協会が2001年から開いている。正午のサイレンに合わせて

全員で黙禱し、一人ずつ鐘を鳴らした。

その後、センター内に移動し、当時の食事のすいとんやサツマイモのつる、ふかし芋を食べた。協会の広瀬忠子会長(85)は戦時中の思い出を振り返り、「花火を見ると空襲を思い出す。本当に戦争はしてはいけない

(森直由)



2012年(平成24年)8月16日 木曜日

平和願う鐘 各地で響く

「終戦の日」の15日、阪神間各地でも戦争の記憶を伝え、平和を祈念する催しがあった。戦没者をしのぶ鐘の音が響く中、参加者らはあらためて戦争の悲惨さ、平和の大切さを胸に刻んだ。

(松本大輔、斉藤絵美)

平和を祈って鐘を鳴らす地元住民ら＝浄福寺



川西の寺
浄福

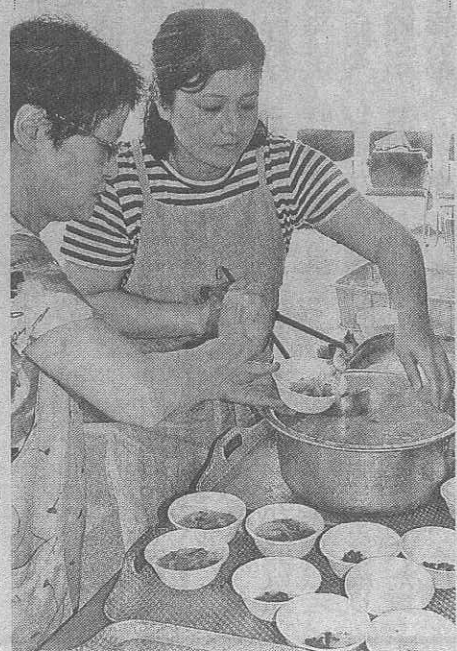
市民ら30人黙とう

67回目終戦の日

芦屋市民
センター

戦時中の食事体験

戦時中の食事を知ってもらおうと、会場で振る舞われた「すいとん」＝芦屋市民センター



川西市栄根2の浄福寺(岩田教證住職)では、市民ら約30人が、境内の鐘を打ち鳴らした。鐘は戦時中、物資不足のため軍に供出。終戦後、奇跡的にほぼ原形のまま戻ってきた。戦没者への追悼と平和について考えるきっかけにしてもらおう

と、川西ユネスコ協会が2000年から毎年実施している。

境内に集まった市民らは、正午の時報に合わせ、1分間黙とう。それぞれが鐘を打ち鳴らし、静かに手を合わせた。

生徒動員として造船所で働いていた田中惇さん(83)は「死んでいった友達(83)は「死んでいった友達の顔がまぎまぎと浮かび上がった。この思いは語り継ぎたい」と話した。

芦屋市では、芦屋ユネスコ協会主催の平和祈念行事が市民センター(業平町)で開かれ、山中健市長のほか、市民約12

0人が「優愛の鐘」を鳴らした。同センター内では戦時中の食事を体験しようとして、「ふかし芋」や「すいとん」を用意した

ほか、戦前生まれの出席者が当時の体験を若い世代に語った。市立山手小5年の由里和葉さん(10)は「どんな命も大切にしなければいけないと思う。世界が平和になってほしい」と願った。

伊丹市では夕方、JR伊丹駅前「カリヨンの鐘」を使ったコンサートがあり、駅利用者らが足を止めて追悼曲に耳を傾けた。

伊丹市では夕方、JR伊丹駅前「カリヨンの鐘」を使ったコンサートがあり、駅利用者らが足を止めて追悼曲に耳を傾けた。

世界が日本が、いま抱えている問題

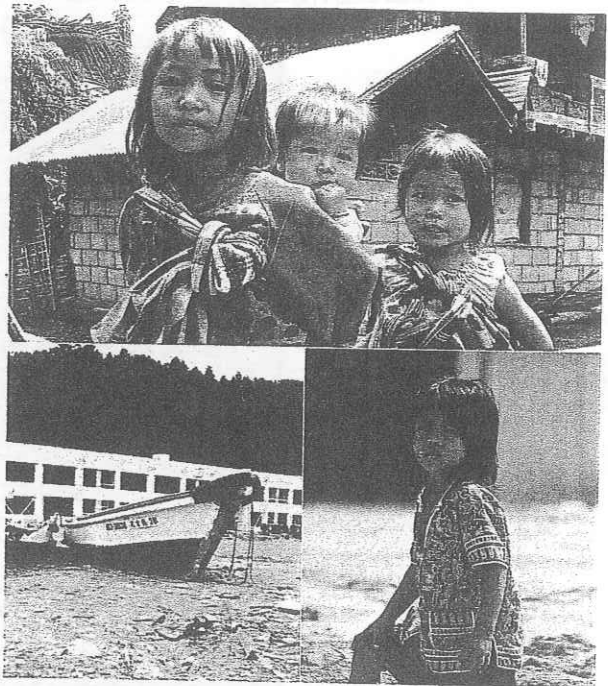
21世紀のいま、世界はなお多くの問題を抱えている。
戦争や内戦が続き、家族を、未来を、奪われる人がある。

5歳までに命を失う乳幼児がいる。
飢餓や貧困に喘ぐ大人がいる。
学校に行けない子どもたちがいる。
そこに課題解決への足跡が印されてゆく。

2011年3月11日、未曾有の東日本大震災発生。
その時、被災地の市民がとった行動は、
世界の称賛をあげた。

日本には国際的な協力と連携が集まった。
「絆」。

平和で公正な世界を築くために
人類が連帯して行動しようと呼びかけています。



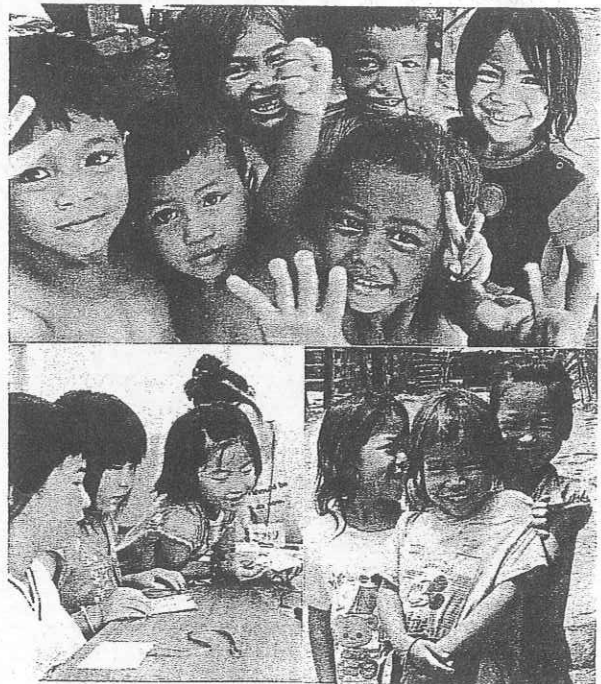
ユネスコがめざす明日

教育、科学、文化、コミュニケーションを通じ、
世界の平和を願う「心」をつつにする。
それがユネスコの果たすべき役割であり、
私たちがめざす明日です。

読み書きを学ぶことは、明日を生きる力になる。
歴史や自然に触れることで、文化を守る心が育つ。
平和の大切さを分かち合うことで、
本当に平和な世界が実現する。

私たちは、
教育復興に全力を尽くしています。
津波被災、原発避難、遺児・孤児となった子どもたち、
震災で困窮する家庭の子どもたち。

私たちの活動の一つひとつが、よりよい明日を
つくる力になると信じて、今日も活動しています。



第68回〈民間ユネスコ運動65周年記念大会〉

日本ユネスコ運動全国大会 in 高松 開催される

9月15(土)～16日(日) 香川県高松市のアルファあなぶきホール〈県民ホール〉で「つなげよう平和の心 築こう平和の文化―地域から世界へ、大切なものを守るために―」を大会テーマに日本全国のユネスコ協会の代表が参加し盛大に開催された。

内容の概略は、東日本大震災子ども支援募金状況の紹介をはじめ、基調講演は俳人の 黛 まどかさんの「東日本大震災を通して見た日本人の美德」について感動の体験談を拝聴した。

次いで著名人による「私たちが出来る平和への提言」と題した力強い対談、そして青年たち〈大学生〉の企画プログラム「平和と巡礼文化」による事例発表などがあり、レセプション・交流会では出席者や所属する各協会の情報交換で多いに盛り上がりを見せた。

二日目のパネルディスカッションは香川県在住の外国人有志による「外国人から見た平和とは何か」について興味ある意見の提示があり参考になるものであった。

今回の大会は、二日間を通じて人と人との「絆」が必要な時代である今だからこそ、地域から世界へ向けて平和の文化を築く決意を新たにすると共に、次世代へ平和の心を伝えていく私たちの使命を確認するための意義ある大会となった。

芦屋ユネスコ協会からは、廣瀬会長を始め塩井副会長・森副会長・塩井(君)事務局次長・永井常任理事・徳矢常任理事・小澤理事・青木理事の8名が代表として出席した。

第33回 阪神間ユネスコ協会連絡会 合同事業 開催される

恒例の、阪神間ユネスコ協会連絡会 合同事業が芦屋・尼崎・川西・神戸・三田・宝塚・西宮・伊丹の8ユネスコ協主催で盛大に開催された。本年の開催担当協会は、伊丹ユネスコ協会で10月4日(木)いたみホール(伊丹市立文化会館)で実施された。

実施内容は、石丸雄次郎さん(NGOアジア友好ネットワーク代表)による「世界の今・子どもの今」～今を生きるネパールの子どもたち～と題する講演会であった。

「ネパールは、ヒマラヤ山脈がそびえる風光明媚で、子どもたちの目がきらきらと輝いている素晴らしい国です。しかしながら小学校に通えない子どもたちも多く、学校などの施設も充分ではありません。

そのネパールで、16年間で40校を建設、48校目へ向けて学校を建設中。またストリートチルドレンのケアハウスを建設、運営を続けています。未来を担う子どもたちの教育と福祉の支援が求められています。」と訴えられユネスコの協力を要請された。ユネスコのこれからの地域の平和、世界の平和を考える上でとても重要な課題を再考する良い機会になった合同事業であった。

この合同事業はユネスコ活動の促進と、広く市民へのユネスコ活動に対する理解を深めて貰うと共に各ユネスコ協会会員及び市民相互の交流と連携を図るため、毎年8ユネスコ協会持ち回りでこの合同事業が実施されている。来年度は、川西ユネスコ協会の担当で開催される。

芦屋ユネスコ協会からは、廣瀬会長以下、役員・会員多数が参加し、合同事業を盛り上げた。

年末講演会 & 親睦会のご案内

早いもので今年もいよいよ年末が近づいて参りました。皆様には如何がお過ごしでいらっしゃいますでしょうか。

今年度も恒例の芦屋ユネスコ協会の「年末講演会&親睦会」を下記要領にて開催いたします。どうぞ奮ってご参加下さいますよう ご案内申し上げます。

記

日 時 : **2012年12月18日(火) 18:00~20:30(受付:17:30~)**
◎今からご予約をお願いします。

場 所 : ホテル竹園 3階

内 容 : 講演会・・・外務省特命全権大使(関西担当) 政府代表
食事会・・・フリードリンク
ビンゴ・・・景品多数
エンターテインメント・・・乞うご期待

会 費 : 6,000円(学生3,000円)ービンゴ券1枚付 : 当日受付にて
会員はもとより非会員のご家族やご親戚、ご友人、お知り合いの方など多数お誘い合わせの上 お申込み下さい。

出欠届 : 往復ハガキをお出ししますので出席・欠席にかかわらず必ず返信して下さい。お問い合わせ等は下記までお願いします。
事務局 本庄 恵美 電話・FAX (0797) 32-7910

締切日 : 2012年11月25日(日) ※締切日厳守下さい。
(早めに返事をして頂きますようお願い致します。)

お願い①**ビンゴの景品提供**にご協力をお願い致します。家に眠っているもの(新しいもの)をお持ち下さい。当日受付にてお手渡しくだされば助かります。よろしく。
②**書き損じハガキ**がありましたらご持参下さい。

編集後記

とても暑い夏が過ぎやっとな朝夕気持ちのいい季節になりました。この時期は本当に短くもう年末のお知らせです。今回はどんなお料理かな? プレゼントは何があるのかな? 皆様と楽しい一時を過ごしたいと思っています。まだ暑かったり急に涼しくなったり体調管理が大変ですがクリスマスにお会いしましょう。

本庄 美恵